

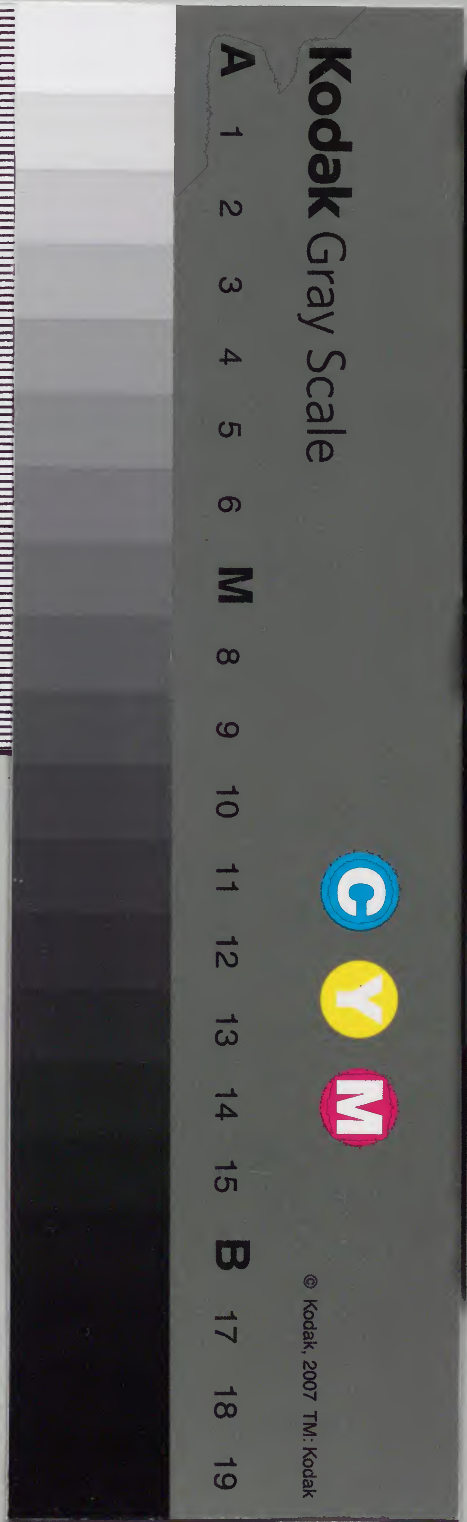
くがりえじ

内閣文庫			
二〇二函	二〇六二八	五二八	和書類
二二架	五一冊	八	

和書門			
二〇六二八	五二八	五二八	
三九	三九	三九	
一冊	一冊	一冊	

内閣文庫			
番號	和	20628	
冊數	51	(5)	
函號	202	349	

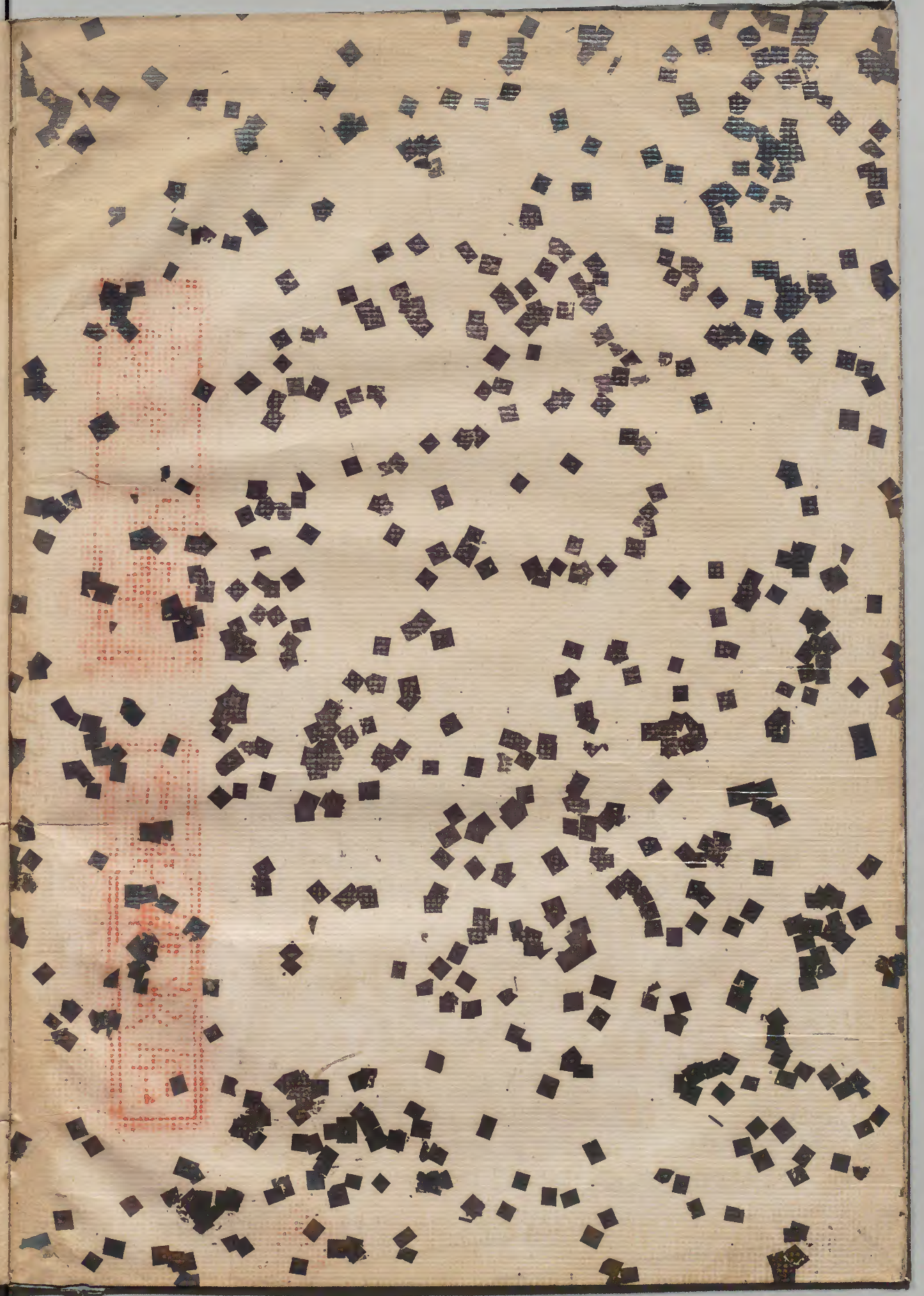
東卅四



正乃高

淺草文庫

和學講談所



おほのつたれといとつたてくもてちのつらこつて
ふとせれくちとせれつてさて乃人くこれ
おくーらまをれちらちるおほら比下の人まて
沖門春更乃のさえさくもくはくちま
つらこつてせれふ人おほくせれ一は
ちらよんつてちらくちくもつらま
そらいつたつらさくちてはたはの
くろーまをら海一とと老らるるせと
あーくはつてつらつらもあつた
くつらつらつらつらつらつらつら

さよもいふとつらつらつらつらつら
るらほとま乃つらつらつらつらつら
んのらよ源一の君つらつらつらつら
いてつらつらつらつらつらつらつら
乃れつてつらつらつらつらつらつら
つらつらつらつらつらつらつらつら
んもた乃おつらつらつらつらつら
一はつらつらつらつらつらつらつら
柳花園といぬまひとつらつらつら
つらつらつらつらつらつらつらつら

うかれ清う流るるいと先門くくさよ人里へ
こさあわがしそら先それえれくまひ流と
長くへくいとよあらしもくしと文るとかり
とらうと源一乃君乃清とがらトもえよみせ
くどよ下乃くろ博士との心よしいくう里を
かき乃とらうとまのころ君とむらよ一人
まの門といくはらふおほくまひ中宮清光の
こゆるうにきても春又の女師のあふらよは
流るくもあやう我く里と心うとを才門
おほくくわげら

おほくく花のとうこ城かまうくろ落と心の
とれまうく清心のうらまことあじ事いそらよ
うまじあきうらげく心とそけりかじそら
先とのくあがれこさた春又つてせぬわまそ
乃とやうなるあらよ月いとわくさいてくおん
と源氏の君えんつらよんとくくくおほく
なれがうのくくもらやとみくおんよ里は
かまあはしよとらあぬこひまもくもあくと
藤ははらら然りさうそのひくうくひあけ
とあそぬくくくらもてくれが化らけさて

うきやう

こころの例とるらるるへんはよもほめてさ
わがまゝにそらいくつう海へいづらよのうい
ほくまへはらまうしすくね程く一弁申ねるあ
ほいさわひくくさぬくりぬらもすね
かうぬじーせからおーけいさうくよ地の福を
そくへあつてはさひぬいとふとらんーく乃
わらうあまの君がえれらーあなほいとわら
うーうてふくゆんとのこーけい春文く一お月をら
とがほーさうされいいとらるるく運をたさ
おとこ君とこらうくけりーねねさむよあそん

なまはらゆ福といひ事とふくそくよのうへんあ
おのこむしんくく運とけいぬよよの甘にほ
こたぢらわらけいあらよとまのうみこらかほくは
とんぬくさくあのみ乃あ一花たの盛にさよん
ほららうらむしやとてれらるるむじおくたさく
梅るこまをいとおとらんぶらさくはくはくは
殿とまのらの沖もきよふくさくそくぬれは海
うていとゆきさくくくくくくくくくくくく
何とい海さくくそら一ぬくは源一乃君あ一日
内てあそいづじのけりてよまのぬくくくくく

原
らるるつてあつてはとく

あつてはとく
月乃らるるつてあつてはとく

とえそのあつてはとく
いらくさるるつてあつてはとく
あつてはとく
うづらふとれつて





